

ふれあいビタミンあいのまち うみ・そら・みどりと共に生きる



まきのほら



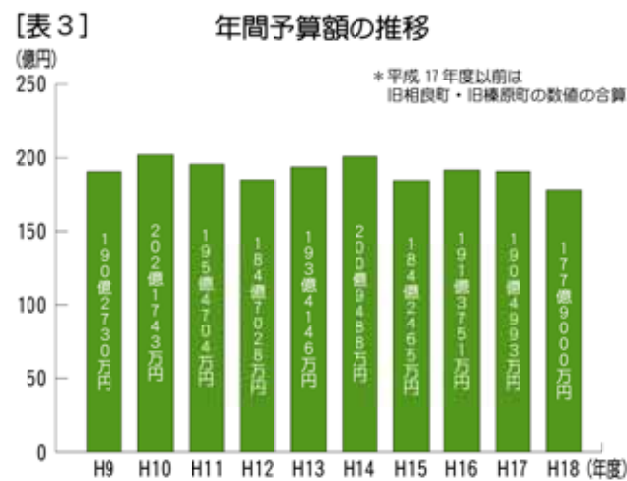
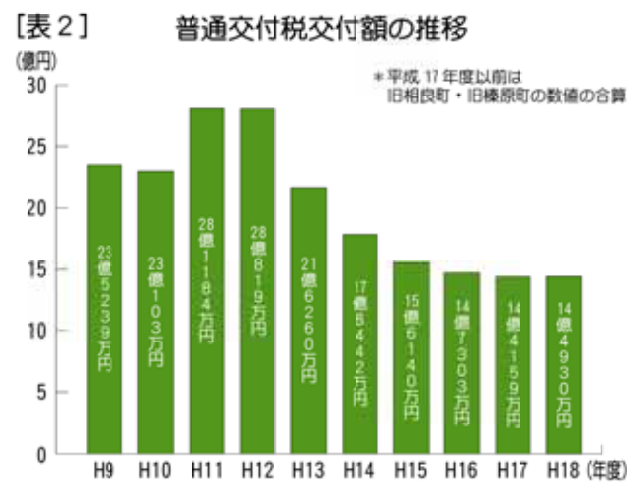
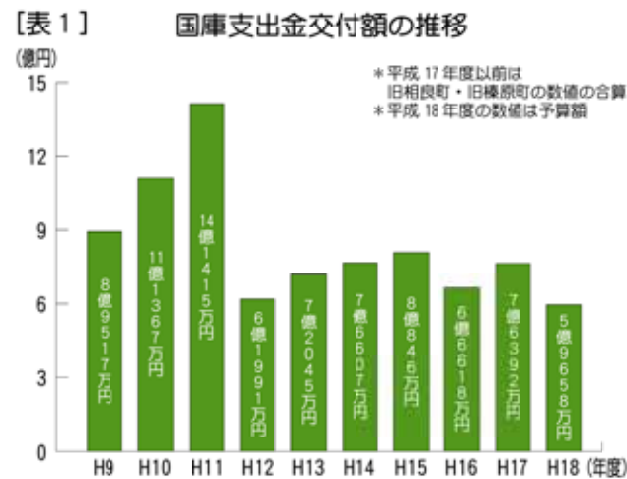
8 | 5 日号

2006年(平成18年) vol.18



特集 ● 企業と地域の発展のために
牧之原市の企業立地を考える
● 市組織の見直しを検討しています

Photo: しずなみビーチフラッグス大会



市が進めている「三位一体の改革」によって、牧之原市の収入のうち、今まで国や県から交付されていた国庫支出金・普通交付税などが、平成11年度のピーク時と本年度予算額とを比較すると、国庫支出金・普通交付税合わせて約22億円も減少しています(表1・表2参照)。

一方、支出では少子高齢化などで、医療費や福祉・介護費

などへの支出が年々増加しており、どんなに公共事業や人件費などへの支出を抑えても、収入に見合った予算を組むことが困難な状況です(表3参照)。

市債(市の借金)を極力抑え、毎年度の予算の不足分を穴埋めするために財政調整基金(市の貯金)を取り崩してきましたが、その基金も残りわずかとなっています。

しかし、牧之原市内には、すでに多くの企業が進出しており、平成16年の牧之原市の工業製品出荷額は5454億円、県内では第10位となっています(表4参照)。

これは、相良牧之原インターチェンジや御前崎港などが整っていることが要因の一つとして考えられますが、今後は富士山静岡空港が整備されることで、「陸・海・空」すべての交通基幹

が整うまちに発展します。財政が安定した「元気な牧之原市」になることが、地域や進出企業の発展につながると考えています。そのためにも、牧之原市では、「企業立地」を重要な施策の一つとして考えています。

※三位一体の改革
「補助金の削減」「地方交付税の見直し」「地方への税源移譲」を同時に進め、地方分権を目指す国の政策

【表4】 県内市町の工業製品出荷額

| 順位 | 市町名 | 出荷額 | 順位 | 市町名 | 出荷額 |
|----|------|--------|----|-----|-------|
| 1 | 浜松市 | 26,284 | 13 | 焼津市 | 4,014 |
| 2 | 磐田市 | 18,605 | 14 | 藤枝市 | 3,801 |
| 3 | 静岡市 | 15,780 | 15 | 島田市 | 3,709 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | 18 | 菊川市 | 2,375 |
| 10 | 牧之原市 | 5,454 | 20 | 吉田町 | 2,304 |

※出荷額の単位: 億円
※参考資料: 平成16年工業統計調査

市の財政は、「収入縮小、支出拡大」

企業立地は、牧之原市を元気にする手段



特集

牧之原市の企業立地を考える

企業と地域の発展のために

景気回復に伴い、企業の設備投資意欲は高まりつつありますが、企業の海外立地・海外生産の増加によって、国内ではかつてのような盛況は期待できません。しかし、企業誘致は、地域経済の活性化に不可欠なものです。少ない企業立地をめぐる、自治体間の企業誘致競争は激しいものになっています。「なぜ企業誘致は地域経済の活性化に不可欠なのか」——今回は牧之原市の企業立地について特集します。

企業立地は、企業と地域に好循環を生む

企業が立地した地域には、企業による雇用が生まれ、定住人口が増加します。これによって、さまざまな商店や娯楽施設などが建てられ、まちに賑わいが生まれます。

また、企業からの固定資産税や法人市民税のほか、その企業の雇用で増加した定住者からの税金で、まちの税収がアップ。福祉や防犯など、暮らしに関わるさまざまな取り組みへの行政費用が工面しやすくなります。



また、まちが発展していくことによって、立地している企業では、人材が確保しやすくなり、企業の立地環境がさらに整備されていくなど、ますます企業を取り巻く環境が充実していきます。加えて、立地環境が良くなることで、新たな企業の進出が見込まれます。

企業立地により、企業や地域にとって好循環を生み出す一方、騒音や悪臭、道路環境など、さまざまな問題を生み出す可能性があります。

このため、企業進出の際には、企業、住民、行政の話し合いが不可欠です。

特集
牧之原市の
企業立地を考える



牧之原市の
企業誘致への取り組み

相良牧之原インターチェンジ、御前崎港、富士山静岡空港、そしてこれらをつなぐバイパスなど、市内では企業立地に向けた交通基幹が整いつつあります。
これらを踏まえ、牧之原市では企業誘致に向けてさまざまな取り組みを進めています。

工業
用水

これまで、牧之原市には工業用水が整備されておらず、水を使ってものでづくりをする企業の立地が進みませんでした。

しかし、県が権利を持つ大井川の水を工業用水として分水することができるようになり、現在、工業用水企業団の設立に向けて準備をしています。

これによって、これまで工業用水に比べて高い料金設定となっていた上水道（飲料水）の利用を余儀なくされていた企業にとっては、経費のコストダウンを図れるようになり、また新たな企業の誘致に向けて非常に有利な条件が整います。

用地

「用地が確実に確保できるのか」は、企業が立地を決める重要な要素の一つですが、まとまった土地を確保することはとても難しいことです。

* 牧之原市では、市民の皆さんから「使わなくなった土地」や「生かされていない土地」の情報をお待ちしています。お寄せいただいた情報は立地を考えている企業へ提供していきます。

「企業立地で地域を活性化したい」という市民の想いを、市が企業へ伝えていきます。

*土地面積は3,000平方m以上に限ります。

雇用

企業進出や既存企業の業務拡大の際は、雇用確保が課題となります。そこで、牧之原市では企業・大学・高校・商工会・ハローワークなどに呼びかけ、「牧之原市産業雇用支援ネットワーク」を8月に立ち上げます。

「企業にとってどのような人材が必要なのか」「学校はどのような教育をすればいいのか」「高校生や大学生が市内企業に就職するためにはどのような支援が必要なのか」など、今後の雇用対策、人材育成、企業間連携など、このネットワークを通じて市を支える産業をより発展させる取り組みを進めます。

地域
理解

企業立地には、雇用安定による若者の定着、定住者が増えることによる地域や地域産業の発展が期待できます。

しかし、企業立地には地元住民の皆さんの理解が不可欠です。牧之原市では、企業立地が見込まれる際には、進出地域の皆さんへの情報提供を積極的に行っていきます。

私たちの暮らすまちを豊かにし、次世代に活気あるまちを引き継いでいくためにも、住民の皆さんと進出企業、市が共に考える機会を作っていきます。



私たちが暮らす地域が豊かになるよう、また牧之原市に進出した企業がさらに発展できるよう、市では行政の立場から地域・企業が元気になるお手伝いを進めていきます。

皆さんのご要望に合った施策を展開していきたいと考えていますので、ご意見をお聞かせください。

●問い合わせ 企画開発課企業立地係 ☎(23)0042

企業

- ・国道473号バイパスの建設で、輸送がしやすくなった。
- ・地域との関係がうまく行っており、区の一員として行事や会合に参加させてもらっている。
- ・立地にあたり、地権者や地域の同意がスムーズに得られ、地域の一員として温かく迎えてくれた。
- ・雇用者の確保に地域が積極的に協力してくれた。
- ・市に電気代の助成制度や立地に関する支援制度があり、立地の決め手になった。
- ・富士山静岡空港によって、人の往来が便利になる。
- ・都市ガスや工業用水などが整備されていない。
- ・鉄道などの公共機関が不足しており不便。
- ・必要な労働者が足りず、ほかの地域からの人材派遣でまかなっている。
- ・民間アパートと契約し社宅にしているが、生活環境の整ったところがなかなか見つからない。
- ・アパートが不足している。
- ・今日、景気の変化や受注への対応にスピードが求められている。用地確保や施設整備に時間が掛かるなら、ほかの地域や海外に立地せざるを得ない。
- ・農地と宅地が混在しているため、拡張が難しい。
- ・立地した地域の環境基準が厳しく、維持に多額の費用がかかる。

市内に立地している企業へのアンケート調査の回答



企業立地への
考え

市民

- ・地元の人が多く雇用されているのでありがたい。
- ・人が集まることで、地元がにぎやかになった。
- ・地元の商店が潤うようになった。
- ・地元での下請けが増えた。
- ・工場見学を受け入れてくれ、子どもたちが産業に関心を持つようになった。
- ・企業が立地する前は心配をしていたが、企業はとても誠実で、今では地域と良い関係を築いている。
- ・企業と一緒に地域を作っていく仲間。情報交換し、問題解決しながら、良い関係を作っていくことが大切。
- ・災害などの際、企業は人手や用地などを提供し、地域は情報提供するなど、企業と地域で連携したい。

企業立地地域へのアンケート調査の回答

行政

- ・企業からの求人は景気を反映して好調である。
- ・企業は新卒者を育てるよりも、即戦力を望む傾向。
- ・就労希望者の希望業種は、男性は製造部門、女性は事務・販売部門を好む傾向にある。
- ・小さな子どもを育てながらの女性は、子育てと会社勤めとの両立が難しい環境にある。
- ・若年層の雇用に対する意識が変化してきており、定職ということへのこだわりが少ない。
- ・雇用側の企業と就業希望者との間で、雇用形態などに関する意識のずれが生じている。
- ・派遣会社からの雇用が急増している。

ハローワークへのアンケート調査の回答



企業・住民・行政の
企業立地への考え

企業立地について、すでに市内へ立地している企業や企業の立地先の地域住民、そして行政（ハローワーク）はどのように考えているのでしょうか。

みんなが主役 想いが実現するまちを目指して 「協働」でまちづくりを進めよう

～フォーラムまきのほら 中間報告～

市では、さまざまな課題解決に向けて利害関係者で話し合う「フォーラムまきのほら」を今年5月に立ち上げました。

現在、七つの検討課題を14のグループが、課題解決に向けて検討を行っています。

7月8日には、各グループから検討課題ごとに話し合った内容の進ちょく状況についての中間報告会が市役所棟原庁舎で開かれ、次のことが発表されました。

| 検討課題 | グループ | 発表内容 |
|--------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 情報 | 情報 | インターネット上で情報交換をし、各グループ間の連携を深める場としてSNS（ソーシャルネットワーク）を構築しました。名前は「大好きまきのほら」です。参加希望の方は、メールにて秘書政策課までご連絡ください。 |
| 自治体 | 自治会 | 自治会のあり方について検討しています。今後は、区長さんなどと話し合いの場を持つなどし、自治会の新たな仕組み作りに関わっていきます。 |
| | 施設活用 | (仮称)相良総合センターについて検討しています。市民のための施設であることを皆さんに理解してもらい、スムーズな運営ができる仕組み作りを検討していきます。 |
| 子育て | 子育て | 妊婦と子育て中の親がどんな悩みを抱えているのかを把握するためアンケートを実施し、集まった悩みについての解決方法を検討していくほか、市内の公園マップの作成も検討しています。 |
| 健康福祉 | 健康福祉 | コミュニティバスについて検討しています。県内各市町の運営方法などを調査し、導入の是非について検討していきます。 |
| 生涯学習 | 子どもの体験学習 | 「子どもたちに自然体験をさせたい」「通学合宿をさせたい」「本と親しむ子どもを育てたい」「学校と地域の関わり合いを深めたい」「牧之原市を何かの日本一の市にしたい」「もっと大人が子どもに関わろう」「子どもが自然体験できる川にしたい」の七つをテーマに検討しています。 |
| | 市民大学・公民館活動 | 市民大学を立ち上げるとともに、地域活動の拠点としての公民館活動を行うことを検討しています。 |
| 環境 | 地域の環境 | 市内の不法投棄箇所や河川が汚染されている箇所などを回り、牧之原市の環境マップを作成することを検討しており、作成後は、各区や各町内会で説明会を実施していきます。 |
| | 海岸の環境 | 豊かな自然や浜辺を子どもたちに残していくため、まずは、浸食された砂浜を取り戻していく手法を検討しています。 |
| | ごみの減量化 | ごみを資源化することで、排出量と焼却量を削減していくことを検討しています。 |
| まちの活性化 | イベントを企画しよう | 「子どもからお年寄りまでが楽しめるイベント」を考えていこう」をグループのコンセプトにし、検討しています。 |
| | キャラクター、歌 | 牧之原市のイメージにふさわしいキャラクターや歌の募集に向け検討しています。 |
| | 新商品 | 「創る」をポイントに、お茶に的を絞った新商品を検討。キーワードは「飲む」「食べる」「着る」で、「生産量日本一」から「消費量日本一」になるための方策を検討しています。 |
| | 元気があふれる笑店 | ホームページの活用と空き店舗の活用について検討しています。 |

現在、「フォーラムまきのほら」では以上のことが検討されており、今後、関係者などと話し合いをさらに進め、課題解決に向けて活動していきます。

「フォーラムまきのほら」への参加申し込みや意見などは、電話やメールなどで受け付けていますので、お問い合わせください。

●問い合わせ 秘書政策課政策係 ☎ (23) 0043 E-mail: haibara5f@city.makinohara.shizuoka.jp

市組織の見直しを 検討しています

～簡素で効率的な組織機構のために～

問い合わせ 管理課 ☎ (23) 0051

牧之原市には棟原庁舎と相良庁舎があり、原則的にどちらの庁舎でも同じ市民サービスを提供できる機能を持つ分庁舎方式を取り入れています。

人口や財政規模、産業構造、観光資源など、似通った2町が合併する際に、合併協議の中で「行政の機能がどちらかの地域に片寄ることなく、市民の皆さんにご不便をかけるように」ということから、両庁舎同等の機能と権限を持つ分庁舎方式としました。

| 室を配置している現在の体制 | |
|-----------------------------------|------------------|
| 棟原庁舎 | 相良庁舎 |
| 市民生活室 | 市民課、税務課、環境課 |
| 管理課、財政課、防災局秘書政策課、情報発信課企画開発課、空港対策課 | 地域振興室 |
| 産業経済室 | 農林水産課、お茶振興課商工観光課 |
| 都市建設室 | 都市整備課、建設課 |
| 出納分室 | 出納室 |
| 水道課 | 水道室 |
| スポーツ振興課 | 教育総務課、学校教育課社会教育課 |
| 総合健康福祉センターさざんか | |
| 福祉企画課、子育て支援課、高齢者支援課、健康づくり課 | 健康福祉室 |

分庁舎方式の課題

現在の方式は、どちらの庁舎に行っても用事が済むよう便利な機能を持っていますが、一方で、さまざまな課題も抱えています。

市の組織機構は、課や局がない庁舎には同等の機能を持たせるために「室」を設けています。その分、職員を配置し、台帳や備品なども重複して備えなければならず、また、組織内の情報伝達などを行うにも効率的ではありません。例えば、会議や決裁などのため、職員は両庁舎間を往復することになり、その件数は4月の1カ月間で698件になりました(左表参照)。

| 移動状況 | 件数 |
|---------|------|
| 会議での移動 | 114件 |
| 決裁・事務連絡 | 504件 |
| その他 | 80件 |
| 計 | 698件 |

*平成18年4月の1カ月間の状況

市民の皆さんからのご意見

「市役所の機能をどちらかの庁舎にまとめること、なくなる方の市民は不便になる」「合併のメリットを出すためにも一つの庁舎にしたほうが」「厳しい財政事情の中、両庁舎に同じようなものがあれば、人件費は減っていかない」との声が聞かれます。

さらに効率的な組織に

自治体は、国の「三位一体の改革」や社会保障、環境、子育て支援など、さまざまな政策の推進に対し、組織の再編や専門的部署の設置などにより、柔軟に、適切に対応していかなければなりません。そこで、市では4月に秘書政策課や防災局、子育て支援課などを設けるなど、重要課題への対応、専門性を踏まえ、組織機構の見直しを実施しました。

しかし、今後の国の政策や市の事業展開、9月に策定される市の行政改革大綱や集中改革プラン、定員管理計画などを踏まえた場合、さらに簡素で、効率的な組織機構に改善する必要があります。

今後の方針

10月に組織の見直しを行う予定です。その具体的な内容は、市長あてかけトークなどでの市民の皆さんからの声や市行政改革懇談会からの意見、市役所内の調査・研究を踏まえ、室の廃止に向けて検討しています。

組織の見直しは、市民の皆さんに慣れていただいたサービスへの提供に手直しをすることになり、多少の不便をおかけすることになりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



Wing of Dreams

no. 7

空港建設地で楽しいイベント 静岡エアポートフェスタ'06

平成21年3月の開港に向けて整備が進む富士山静岡空港の建設地を会場に、静岡エアポートフェスタ'06を開催します。

ヘリコプター体験飛行などの多くのイベントをご用意。皆さんお誘い合わせの上、会場へお出かけください。

なお、当日のイベント内容は天候などの事情により、やむを得ず変更や中止となる場合がありますのでお問い合わせください。



一昨年行われたフェスティバルの様子

- 日時 8月20日(日) 午前10時～午後4時
会場 富士山静岡空港建設地内(島田市湯日)
内容 ●ヘリコプター体験飛行(当日抽選・雨天中止)
●紙飛行機大会
●富士山静岡空港をこ揚げ
●静岡空港ふれあいウォーク
●ピーター・フランクさんのトーク&ジャグリングショー
●重機展示や地元農産物などの販売
●お祭りステージ など

入場料 無料(駐車場があります)
問い合わせ 静岡空港建設事務所 ☎0547(37)9004



topic

滑走路が姿を現し始めました

富士山静岡空港の滑走路は全長2,500mと計画されており、そのうち500m分の舗装が完了しました。

中央の黒い部分が滑走路で幅は60m。滑走路を管理するための道路も含まれているため、舗装部分の幅は全体で80mとなっています。



ビオトープの植物たち



ホトトギス



[科名] ユリ科

-----特徴-----

- 名前の由来は、花にある斑点をホトトギス(鳥)の胸にある斑点になぞらえてつけられた。
- 山地の半日陰や湿り気のあるがけなどに生える多年草。
- 茎は直立または垂れ下がり、30~100cmとなる。花は2.5cmほどで漏斗(ろうと)状鐘形。

ご利用ください

家具等転倒防止器具取付サービス

阪神・淡路大震災での犠牲者6,400人以上の内、死因の約8割が家屋の倒壊や家具の転倒による圧迫死だと言われています。これを教訓に、市では東海地震での被害をできる限り減らすため、7月から「家具等転倒防止器具取付サービス」を始めました。

サービスが受けられる世帯

- 市内に住所がある65歳以上の高齢者のみの世帯
- 市長が特に認めた世帯(詳細はお問い合わせください)

サービスの内容

家具を固定するのに必要な器具の取り付け費用を市が負担します。
*器具の購入代金は申請者負担。

サービスの対象となる家具

たんすや食器棚など1世帯あたり5台まで

誰が器具を取り付けてくれるの?

「牧之原市家具等転倒防止器具取付作業員証」を携帯した榛南建築組合に所属する大工さん。

サービスを受けるには?

転倒防止器具を購入する前に、防災局(市役所榛原庁舎4階)または地域振興室(同相良庁舎3階)までお越しください。

家族の安全は家族で守ろう

家具等転倒防止器具を取り付け東海地震に備えましょう

サービスを受けるまでの流れ



- 1 器具を購入する前に申請
- 2 申請者に決定通知
- 3 市が業者に取付作業を依頼
- 4 業者と申請者で日程調整後、器具の取り付け
- 5 業者が市に取付確認書提出
- 6 市から業者に取付料を支払



器具の取り付けは、「牧之原市家具等転倒防止器具取付作業員証」を携帯した作業員が行います。

- 問い合わせ 防災局防災企画係 ☎(23)0056

食中毒を防ごう!!

●問い合わせ 中部保健所榛原分庁舎 ☎(22)1151

昨年度、県下で3件165人がサルモネラ菌による食中毒と診断され、牧之原市内でもこの食中毒が発生しました。

主な症状は、腹痛・下痢・発熱ですが、吐き気や悪寒を伴う場合があります。大人の場合は、通常1日から4日程度で治りますが、抵抗力の弱い子どもや高齢者は全身疾患を起こすことがあり、特に注意が必要です。

原因食品の中で多いのが、食肉や卵、またそれらの加工品です。

予防のポイントを守り、食中毒を防ぎましょう。

予防のポイント

- 食品は低温保存や冷凍保存をする
- 電子レンジなどで手早く解凍する
- 調理時には生肉とほかの食品を分ける
- 卵は新鮮なものを使い10℃以下で保存する
- 生肉処理後の器具などは十分に洗って消毒を行う
- 食材は中心部まで十分に加熱調理する
- 調理後はなるべく早く食事をする
- ペットを触った後は手指を良く洗う

生活情報 あれこれ



募集

しずおか子育て優待カード 協賛店・施設

子育て家庭を地域全体で支える気運を高めようと、県と市では「しずおか子育て優待カード事業」の実施を予定しています。

これは、市内在住の妊婦や18歳未満の子どもを持つ保護者に「子育て優待カード」を配布し、協賛店・施設でカードを提示すると特典が受けられるというものです。

この事業に賛同していただける協賛店・施設を募集します。

●募集対象 市内で事業を営む店舗や施設など

●特典内容 協賛店・施設で決めてください(例)〇日は〇%引き、ポイント〇倍など

●協賛店・施設には、協賛ステッカーを配布します。また、協賛店・施設の名称や特典内容を、県や市のホームページで紹介するほか、一覧表にして子育て家庭に配布します。

●申込方法 所定の申込書に必要事項を記入し、8月25日までに商工観光課に申し込む。



西原市長から激励を受ける部員

自分の力を信じて 全国大会での活躍を誓う

【相良高校・全国大会出場者表敬訪問】

全国大会へ出場する相良高校のヨット部と新聞部の部員が7月10日、市役所相良庁舎で西原市長らに全国大会に向けての意気込みを話しました。ヨット部は、東海大会女子FJ級で6位に入賞し、部長の今村明日香さんと横山沙也加さん、鷺坂玲奈さん、松下愛理さんが、8月7日から和歌山県で開催される高校総体ヨット選手権大会へ出場。また、新聞部は旧相良町の広報紙の製作に関わったことが県高文連新聞部会から評価され、部長の沖本萌さんと榎田奈美さんが8月2日から京都府で開催されている高校総合文化祭へ出場します。

ヨット部の今村部長は「入賞を目指します」、新聞部の沖本部長は「新聞作りの技術を高めたい」と抱負を話しました。

僕らがまいたトウモロコシ こんなに成長したよ

【勝間田保育園・トウモロコシの収穫体験】



収穫したトウモロコシを手に満足げな園児

子どもたちに食べ物を育てることの大変さを知ってもらい、感謝の心をばぐくんでもらおうと、勝間田保育園の4歳児と5歳児31人が7月14日、勝間田区内のトウモロコシ畑で収穫体験をしました。トウモロコシ畑を管理している有限会社グリーンパッケージの山本義明さんから指導を受けながら、園児たちは慣れない手つきで収穫。自分たちが種をまき、間引きなどを行い育てたトウモロコシを上手にもぎ取りました。収穫したトウモロコシは、園に持ち帰って自分の手で皮をむいた後に調理員にゆでてもらい、おやつの際にみんなで味わいました。

「整備区間」に格上げし 一日でも早い供用開始を

【国道473号相良バイパス要望】



石川県知事(左)に要望する西原市長

富士山静岡空港から御前崎港までを結ぶ、国道473号相良バイパスの一日も早い供用開始をと、7月3日と同月20日に西原市長ら関係者が県と国土交通省へ要望を行いました。同バイパスは、西萩間インターチェンジ(IC)から御前崎港までの区間が来春に供用が開始される予定ですが、西萩間ICから東名相良牧之原ICまでの約4.5kmの区間は「調査区間」のまま。この区間を「整備区間」に格上げし、早期供用開始の実現を要望しました。

西原市長は「富士山静岡空港を生かした『静岡県の空の玄関口』としての地域づくりのために欠くことのできない重要な事業。開港時にあわせての供用開始を」と強く要望しました。

消費者講座受講生

金融商品や生命保険について、基礎をわかりやすく解説する講座です。

- 日時 9月7日(木) 午後7時～午後8時30分
- 会場 総合健康福祉センター ささぎさんか
- 内容 講演「金融商品と生命保険の基礎知識」
- 募集人員 30人
- 定員となり次第締め切り
- 申込先・問い合わせ 商工観光課 商工振興係 ☎(53) 2623

平成19年度採用 静岡県警察官

- 募集職種・受験資格 ▼警察官A 昭和51年4月2日以降に生まれた大卒または大学卒業見込みの方 ▼警察官B 昭和51年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた高校卒業程度の方
- 募集人員 ▼警察官A 男子20人、女子2人 ▼警察官B 男子73人、女子5人
- 申込期間 8月7日(月)～8月25日(金)
- 問い合わせ 牧之原警察署 ☎(22) 0110

保健・子育て

児童手当現況届の届け出はお済みですか
児童手当現況届の通知書が届いている方で、まだ届け出

ブックスタート

- 日時 8月17日(木) 午後1時30分～午後2時30分
- 会場 総合健康福祉センター ささぎさんか 2階和室
- 対象 平成18年4月出生児
- 内容 絵本の読み聞かせなど(絵本を2冊贈呈します)
- 持ち物 母子手帳・パスポート
- 問い合わせ 子育て支援センター ☎(22) 0174

お母さんと遊ぼう！ マミーエンジェル

- 日時・対象 ▼8月7日(日) 17時～18時 ▼8月9日(火) 15時～16時 ▼8月10日(水) 13時～14時 ▼8月10日(水) 17時～18時 ▼8月10日(水) 19時～20時 ▼8月10日(水) 21時～22時
- 会場 総合健康福祉センター ささぎさんか
- 内容 親子体操など
- 持ち物 バスタオル
- 問い合わせ 子育て支援センター ☎(22) 0174

集まれ!

まきのほら

KIDS

よこい ゆうな
横井 結奈ちゃん(1歳)



平成17年2月16日生(静波)

パパ 徳生♥ママ 千春
果物大好き!
優しい子に育ってね。

たけうち かいと
竹内 啓登くん(2歳)



平成16年7月27日生(相良)

パパ 重文♥ママ 晶子
大好きなお姉ちゃんの真似が
マイブームなんだよ。

なかにし かいじ
中西 海詞くん(0歳)



平成18年1月4日生(牧之原)

パパ 富貴男♥ママ 久美子
寝返り大好き!
現在ハイハイ特訓中!

よこい なおと
横井 那音くん(0歳)



平成17年10月8日生(静波)

パパ 達生♥ママ 美保子
ほくもはやくバイクに乗りた
いな♪

しのみや さと
四ノ宮 多英ちゃん(3歳)



平成15年7月31日生(鬼女新田)

パパ 康弘♥ママ 真奈美
みんなと仲良く遊んでね。

ごめんなさい。

申し込み多数のため
募集を一時お休みします

募集は9月5日に再開します。

- 申込資格
牧之原市内に住んでおり、掲載時点で3歳以下のキッズに限ります。
- 問い合わせ
☎(23)0053(情報発信課)



トピック pick up!

心地よい潮風を感じながら海を満喫 海の日記念フェスティバル

7月16日と17日、第10回海の日記念フェスティバルが御前崎港マリーナで開かれました。

これは、マリンスポーツや乗船会などを通して海の魅力を知ってもらおうと牧之原市と御前崎市が開催したもので、マリンジェットやヨットなどのマリンスポーツを体験する海洋スポーツ体験会や駿河湾体験航海クルージング、海上保安庁巡視船「あしたか」体験乗船会、真鯛の稚魚の放流などが行われたほか、地頭方港ではNPO県フィッシングインストラクター協会による釣り教室も開かれました。

このうち、「あしたか」体験乗船会では、市内外から多くの家族連れが「あしたか」に乗り込み、真夏日の青空の下、心地よい潮風を感じながら約1時間の駿河湾周遊を満喫しました。



写真上/ヨットを体験する参加者



写真左/マリンジェットを楽しむ参加者